

平成27年度 第4回運用容量検討会 議事録

日 時：平成28年2月17日（水） 13:00～14:00

場 所：電力広域的運営推進機関（豊洲ビル）会議室C及び広域本番会議室A（TV会議）

出席者：

- 東谷 徹（北海道電力株式会社 工務部広域システムグループリーダー）
- 高橋 英人（東北電力株式会社 電力ネットワーク本部電力システム部給電グループ課長）
- 福元 直行（東京電力株式会社 系統運用部系統運用計画グループ副長）代理出席
- 佐藤 幸生（中部電力株式会社 流通本部系統運用部系統技術グループ 課長）
- 柴田 創（北陸電力株式会社 電力流通部系統運用チーム チーム統括課長）
- 中瀬 達也（関西電力株式会社 電力流通事業本部給電計画グループチーフマネージャー）
- 柴田 保（中国電力株式会社 流通事業本部系統技術グループマネージャー）
- 長谷川 隆（四国電力株式会社 系統運用部給電グループリーダー）
- 深川 文博（九州電力株式会社 電力輸送本部副部長兼給電計画グループ長）
- 若林 哲夫（電源開発株式会社 設備運用部系統制御システム室総括マネージャー）

事務局

- 田村 英夫（電力広域的運営推進機関 運用部長）
- 田治見 淳（電力広域的運営推進機関 計画部兼運用部副部長）
- 中本 健二（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループマネージャー）
- 神田 光章（電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループマネージャー）
- 松尾 工（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ）
- 吉田 重宏（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ）
- 小野 健志（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ）
- 原田 慎也（電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ）
- 堀川 達弘（電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ）
- 坂本 将臣（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ）

配布資料：

（資料1-1）：平成28年度以降の連系線の運用容量算出結果について

（資料1-2）：別冊 各連系線の運用容量算出方法・結果

議題 1：平成 28 年度以降の連系線の運用容量算出結果について

事務局から資料 1 - 1 の説明後、議論を行った。

平成 28 年度以降の連系線の運用容量算出結果について、資料の通り確認した。

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

- ：調整力委員会において FC の西向きマージンに EPPS 分を考慮するかについて見直し
が議論されているが、運用容量の算出には EPPS を考慮しており、両者の間に整合性
はとれているのか。
- ：今年度は、EPPS を前提条件として考慮した上で運用容量を算出したが、調整力委員
会でマージンの取り扱いに変更があった場合は、来年度以降の運用容量算出に反映
していくので整合性はとれている。
- ：中国九州間連系線の冬季温度 25℃の適用による熱容量限度の拡大については、関西
中国間連系線等の同期・電圧安定性に影響するため拡大時の影響を確認してから適
用する。
- ：再生可能エネルギーの導入拡大により、運用容量への影響が発生しそうな連系線は
あるか。
- ：中国九州間連系線では、九州エリアの太陽光発電量が拡大しており、平成 29 年度以
降、周波数上昇側の制約が顕在化し、運用容量が低下する恐れがある。

議題 2：別冊 各連系線の運用容量算出方法・結果

事務局から資料 1 - 2 の説明を行った。

各連系線の運用容量算出方法・結果について、資料の通り確認した。

以上